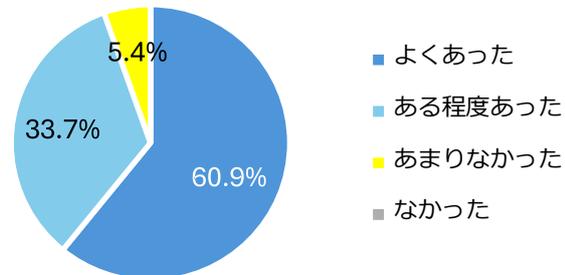
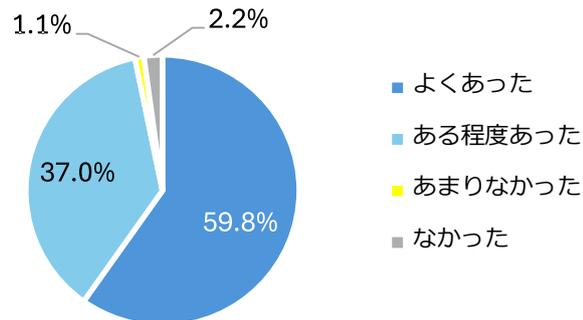


R6後期全体集計グラフ(大学院)

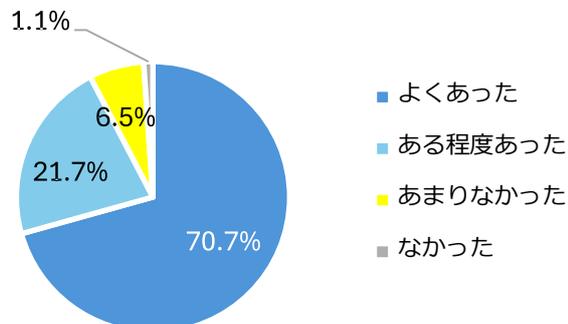
問1 授業内容の「意義や必要性」について十分に説明され、さらに学びたいと意欲がわくものであった。



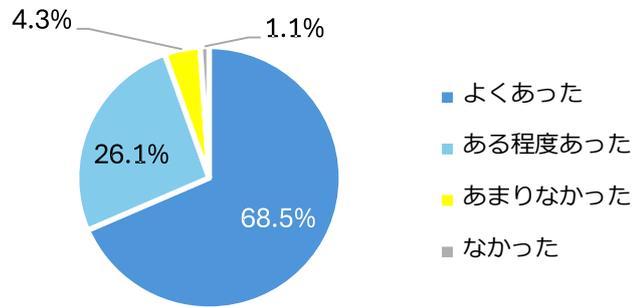
問2 理解しやすいように、資料や機器の利用、活動環境設定、コメント提供などに工夫のある「教え方」が展開された。



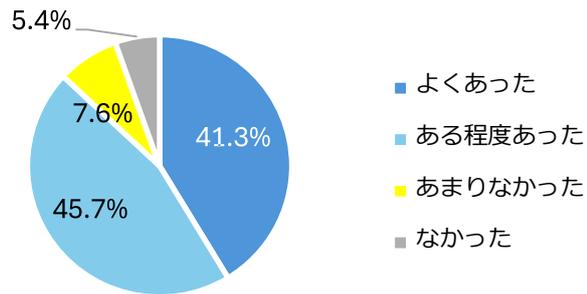
問3 予習・復習などの自主学習や、小テスト・レポート等の課題について、授業やシラバスで指示があった。



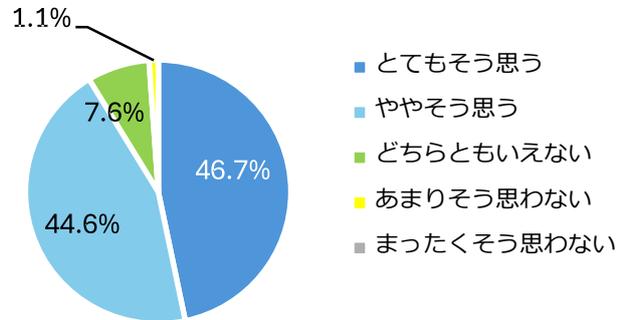
問4 教員から意見が求められたり、グループ・ディスカッションを行ったりするなど、質疑応答の機会があった。



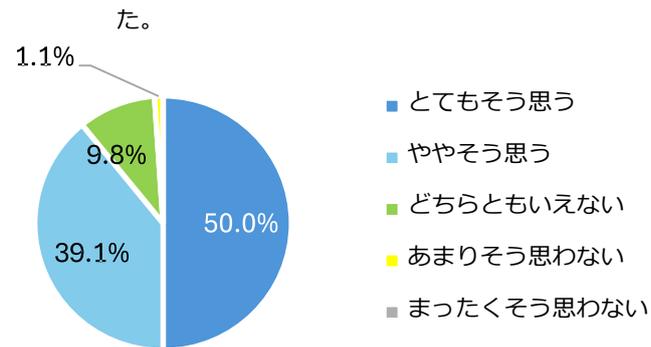
問5 シラバスに掲げる授業目標から考えると、自分は「目標を概ね達成したレベル」を越え、より優れて学んでいると感じる機会があった。



問6 授業のなかで提示された専門的知識を、体系的に、また他の分野や事象とも関連づけながら理解できた。



問7 授業を通して、論理的思考力や課題探求力など、今後の社会生活や職業生活において重要と考えられる汎用的な能力を高めることができた。



問8 授業の内容への関心を高め、関連する資料や参考文献、事項や事象を自ら調べるなどの行動を取った。

